

7. 指導事業

7.1 技術相談

中小企業から受ける技術相談・指導の依頼に対して、電話・来所あるいは現地に出向いて技術的課題を解決した。相談件数は約 46,000 件で、来所が 23%、電話等が 77%、企業の規模別では中小企業が 78%であった。内容では、評価技術、製品開発、品質向上が多かった。業種では、電気機械、繊維工業、卸売・小売業が多かった。

1) 相談の方法および対象

	合計	方 法		対 象			
		来所	電話等	中小企業	他企業	個人	不明・他
件 数	46,055	10,504	35,551	36,110	4,801	1,101	4,043
比率 (%)	100.0	22.8	77.2	78.4	10.4	2.4	8.8

2) 相談（来所・電話等）の内容

区 分	件数	比率 (%)
公害	358	0.8
環境・福祉	847	1.8
製品安全	2,998	6.5
省力・エネ・資源	286	0.6
品質向上	4,929	10.7
評価技術	14,718	32.0
管理技術	1,378	3.0
生産性	153	0.3
新技術利用	1,570	3.4
新素材利用	688	1.5
製品開発	7,987	17.3
加工技術	2,051	4.5
デザイン	1,289	2.8
ソフトウェア	702	1.5
分析技術	3,170	6.9
放射線技術	1,720	3.7
その他	1,211	2.7
合計	46,055	100

3) 相談企業（来所）の業種

業 種	件数	比率 (%)
水産・農林・建設・食品	97	0.9
繊維工業	909	8.7
衣服・その他の繊維製品	535	5.1
木材・家具・紙・パルプ	72	0.7
印刷・出版	69	0.7
化学工業	258	2.5
石油・プラスチック・ゴム	218	2.1
窯業・土砂	293	2.8
鉄鋼業	42	0.4
非鉄金属	84	0.8
金属製品	514	4.9
一般機械	306	2.9
電気機械	1,610	15.3
輸送用機械	143	1.4
精密機械	671	6.4
その他製造業	353	3.4
電気・ガス・運送・電気通信	27	0.3
卸売・小売業	835	7.9
協同組合・事業サービス	106	1.0
情報サービス	138	1.3
その他サービス	102	1.0
学術研究・教育機関	127	1.2
公務	19	0.2
分類不能	2,976	28.1
合 計	10,504	100

7.2 技術アドバイザー指導事業

東京都技術アドバイザーとして、高度な専門知識および経験を有する専門家を産業労働局長が登録し、中小企業の製品開発あるいは製造工程などについて、技術指導を行った。

業種	企業数	日数	主な指導内容
化学工業	4	30	自動車用吸音フロアマットの開発
窯業・土砂	3	25	光学部品の特性評価について
金属製品	12	145	銅・アルミニウムの抽伸技術改善について
非鉄金属	1	38	金属スクラップからの有価物回収と精製について
一般機械	7	52	運動器具の設計について
電気機械	7	42	電子部品の信頼性について
精密機械	7	79	機械工作技術・検査技術の強化について
繊維工業	3	100	糸切替装置の開発・改良について
その他の産業	9	124	オイルセパレーターの小型化について
合計	53	635	

規模別（従業員数別）企業数

20人以下	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	その他（組合等）	合計
22	19	3	9	0	0	53

7.3 工場実地技術指導

都内中小企業の要請により、複数の職員または職員と外部指導員が現地に出向き技術指導を行った。平成17年度は総数925社、指導内容は製品開発に関するものが373件で最も多く、企業規模は20人以下の企業が355社(38.4%)であった。

平成17年度実績は次のとおりである。

指導内容	企業数 (カッコ内%)	指導事項の例
公害	12 (1.3)	クロム系排水処理における設備改善について
環境・福祉	21 (2.3)	自動集尿器の本体部分の設計について
		工場内の作業場における最適な照明環境について
製品安全	24 (2.6)	医療機器のEMS対策について
		誘導加熱システムの電气的安全等について
省力・省エネ/資源	2 (0.2)	清掃工場におけるガラスカレットの有効利用について
品質向上	79 (8.5)	ニット製品の異繊維の混入と編地の筋ムラについて
		高温装置用鋼材の表面処理によるクリープ強度の向上について
		超音波ミシンの改造について
評価技術	106 (11.5)	貴金属化合物の電気化学計測について
		積層プローブ絶縁膜の評価方法について
		アルミねじの品質改良における温度管理について
		蓄光性蛍光材料の輝度測定について

管理技術	22 (2.4)	電気安全サービス用計測器の計測管理について
		化粧瓶の破損事故防止のための品質管理について
生産性	12 (1.3)	錠前製造工程の自動化について
新技術利用	33 (3.6)	FPGA エミュレータの開発について
		ウェアブル血糖センシングシステムの開発について
新素材利用	5 (0.5)	ゾルーゲル法によるガスセンサーの開発について
製品開発	373 (40.3)	球状繊維成型物を活用した枕の開発について
		光カチオン重合エポキシ系接着剤の開発について
		紙針ステープラの開発について
		赤外線自動追尾装置の製品化について
		ユニットバス用の防振支持脚の開発について
加工技術	68 (7.4)	天然染料による捺染品の風合い改善方法について
		低融点ガラスによるガラス融着技術について
		マイクロ放電加工の微細化・高精度化について
デザイン	71 (7.7)	青梅マラソンオリジナルタオルのデザインについて
		菓子向けギフト容器のデザインについて
		錯視柄を応用した商品開発について
ソフトウェア	21 (2.3)	静脈・音声による生体認証ソフトの研究開発について
		DB 連動型メール業務効率化ソフトの開発について
分析技術	21 (2.3)	超微量ハロゲン・硫黄自動分析システムの開発について
		マグネシウム地金中微量成分元素の分析方法について
放射線技術	15 (1.6)	低価格高分解能 X 線管の開発について
その他	40 (4.3)	環境マネジメントシステム EA21 の認証取得支援について
		照明用白色 LED 測定方法の JIS 化について
計	925 (100)	

(従業員数別企業内訳)

人 数	20 人以下	21～50 人	51～100 人	101～300 人	301 人以上	協会・団体等	不 明	合 計
企業数 (カッコ内%)	355 (38.4)	148 (16.0)	88 (9.5)	63 (6.8)	26 (2.8)	19 (2.1)	226 (24.4)	925 (100)

7.4 分野別技術支援事業

都内の中小企業団体等の抱える具体的かつ緊急な技術課題に対して、職員が無料で講義・実演等を実施した。参加人数は延べ 759 人、参加企業数は延べ 416 社であった。

担当課・室・グループ名	実施回数	主 な 指 導 内 容
墨田分室	1	染色堅牢度について、蚕種と絹糸のお話
八王子分室	16	クレーム処理におけるインターネット利用
技術試験室	1	製品の安全性評価技術の習得
材料技術グループ	1	文化財修復における強化処理の評価・解析について
加工技術グループ	3	開発錫合金の特性と铸造性
光音計測技術グループ	1	LED の全光束測定
製品科学グループ	12	産技研におけるデザイン支援 エバーサルデザインについて
生活科学グループ	11	2006 年ファッション傾向について
計	46	

7.5 技術セミナー・講習会

中小企業の技術者の技術能力の向上と中小企業の発展を図ることを目的として、材料、加工、電子、計測・分析、資源環境、情報、放射線応用、繊維・ファッションなどの各分野における最新の工業技術、繊維技術をテーマとした各種の研修・講習会を開催した。

1) 技術セミナー講習会 応募者・受講者数

種別	名 称	担 当 G・室	人 数			規 模				
			定員	応募	受講	日数	講義	実習	合計	昼夜
高等 専門 研修	電子技術	エレクトロ	20	33	20	10	24	36	60	昼夜
	ものづくりのための加工技術	加 工	20	34	24	10	24	36	60	昼夜
	土壌住環境の分析と評価技術	資 源	10	13	11	10	3	27	30	夜
	工業材料の分析と評価	材 料	20	24	21	16	24	36	60	昼夜
	最近の照明と光利用技術	光 音	20	28	23	5	20	10	30	昼夜
	コンピュータ応用技術	情 報	20	22	22	9	18	22	40	昼夜
	製品開発における電氣的安全性と制御技術	エレクトロ	20	21	20	5	12	18	30	昼
高等専門研修の合計 7件			130	175	141	65	125	185	310	—
分 野 別 専 門 研 修	ニット製品の製造技術(第1回)	生 活	10	12	9	1	2	3	5	昼
	ホームページ作成とサーバ(第1回)	情 報	20	23	16	2	4	8	12	昼
	エレクトロ製品開発のための信頼性技術	エレクトロ	20	30	20	3	9	9	18	昼
	ニット製品の製造技術(第2回)	生 活	10	11	11	1	2	3	5	昼
	アパレル製品企画のためのCG活用・初心者向け(第1回)	生 活	6	7	6	1	2	4	6	昼
	放射線測定の基本(第1回)	放射線	10	11	11	1	1	3	4	昼
	アパレル製品企画のためのCG活用・初心者向け(第2回)	生 活	6	7	6	1	2	4	6	昼
	放射線測定の基本(第2回)	放射線	10	11	11	1	1	3	4	昼
	騒音・振動測定技術	光 音	10	21	12	1	3	3	6	昼
	商品開発のための発想技法	製 品	20	26	23	2	4	6	10	昼
	製品の快適性評価技術	生 活	10	11	11	1	2	4	6	昼
	ものづくりのための実践設計	製 品	10	16	13	2	3	7	10	昼
	繊維製品の評価技術	墨 田	10	14	12	1	2	4	6	昼
	測定器機の使用方法和精度管理	加 工	10	27	12	1	2	4	6	昼
	三次元CAD/CAMの導入から基礎(第1回)	加 工	10	2	2	3		15	15	昼
	ホームページ作成とサーバ(第2回)	情 報	20	28	21	2	4	8	12	昼
	三次元CAD(第1回)	製 品	20	14	13	2		10	10	昼
	アパレル製品企画のためのパーソナルカラー選定の知識習得とその活用法(第1回)	生 活	20	12	10	1		6	6	昼
	FPGAによるリアルタイム制御技術	情 報	10	19	10	2	6	6	12	昼
	アパレル製品企画のためのパーソナルカラー選定の知識習得とその活用法(第2回)	生 活	20	18	15	1		6	6	昼
	繊維製品の品質評価(基礎)	八王子	10	13	12	1	1	3	4	昼
	ほう素規制に対応するクエン酸ニッケルめっき技術	資 源	5	7	5	1	3	3	6	昼
	三次元CAD(第2回)	製 品	20	22	20	2		10	10	昼
	初心者のための三次元CAD/CAM	加 工	10	10	10	2		10	10	昼
	三次元CAD/CAMの導入から基礎(第2回)	加 工	10	5	4	3		15	15	昼
	三次元CAD/CAMの導入から基礎(第3回)	加 工	10	6	5	3		15	15	昼
分野別専門研修の合計 26件			327	383	300	42	—		225	—

新 技 術 セ ミ ナ ー	放射線安全取扱技術	駒 沢	60	70	52	1	6	0	6	昼
	皮革の取り扱い方	八王子	50	57	52	1	4	0	4	昼
	ナノテク加工による綿新素材	生 活	50	46	42	1	4	0	4	昼
	デザイン情報 (1) '06 年春夏・市場傾向と色彩	生 活	50	58	47	1	4	0	4	昼
	高齢者のための製品開発	生 活	50	62	47	1	4.5	0	4.5	昼
	2006 年秋冬ファッション予測	八王子	50	56	35	1	4	0	4	昼
	繊維産業におけるナノテクノロジー	墨 田	50	61	49	1	3.5	0	3.5	昼
	デザイン情報 (2) '06 年春夏・欧州素材情報	生 活	50	48	34	1	4	0	4	昼
	放射線を照射した食品の最近の動向	放射線	50	45	41	1	6	0	6	昼
	デザイン情報 (3) '06 年春夏・総合情報	生 活	50	91	72	1	4	0	4	昼
	製品開発とデザイン	製 品	60	91	82	1	6	0	6	昼
	最新の雷害対策技術	試験室	60	71	58	1	6	0	6	昼
	グリーン調達制度と環境への対応	資 源	60	102	95	1	6	0	6	昼
	MEMS(マイクロマシン)技術	エレクトロ	60	64	52	1	6	0	6	昼
	赤外線利用技術	光 音	60	82	70	1	6	0	6	昼
	医療・福祉機器の電气的安全性と製品開発	エレクトロ	60	133	106	1	6	0	6	昼
	最近の防かび剤の動向と工業製品の防かび	資 源	60	72	62	1	7	0	7	昼
	放射線滅菌技術	放射線	50	56	50	1	6	0	6	昼
	CVDダイヤモンド膜及びダイヤモンドの最新加工技術	加 工	60	27	21	1	6	0	6	昼
	放射線の人体影響	放射線	50	26	23	1	6	0	6	昼
	デザイン情報 (4) ファッショントレンド情報	生 活	50	76	62	1	4	0	4	昼
	ナノカーボンの応用展開	加 工	60	70	58	1	6	0	6	昼
	RoHS 指令とプラスチックの環境対策技術	材 料	60	92	82	1	6	0	6	昼
	環境負荷の少ない安心・安全ものづくり --RoHS/WEEE 指令対応と資源の有効活用--	放射線	50	71	57	1	6	0	6	昼
	金型材料の選び方と熱処理	加 工	60	92	85	1	5.5	0	5.5	昼
新技術セミナーの合計 25 件			1370	1719	1434	25	133	0	133	-
総計 58 件			1827	2277	1875	132	-	-	668	-

2) 研修名・日程等 17年度

(1) 高等専門研修

製品の高度化、高品質化に対応できる総合的な研修を行い、優れた発想と技術開発力を持つ人材を育成する。

①電子技術

月 日	科 目	講 師	
6月23日	アナログ回路設計法(1)	山崎技術士事務所	山崎 浩
	(実習)電子回路シミュレーション技術	東京都立産業技術研究所	職 員
6月24日	アナログ回路設計法(2)	山崎技術士事務所	山崎 浩
	(実習)電子回路シミュレーション技術	東京都立産業技術研究所	職 員
6月27日	I/O制御用シングルチップマイコン	東京都立産業技術研究所	渡邊 耕士
	(実習)I/O制御のためのプログラミング		職 員
6月28日	EMC技術	城南地域中小企業振興センター	寺井 幸雄
	(実習)I/O制御のためのプログラミング	東京都立産業技術研究所	職 員
6月30日	信号処理技術	城南地域中小企業振興センター	三上 和正
	(実習)テーマ①センサ技術	東京都立産業技術研究所	職 員
7月1日	電子部品・デバイス活用技術	東京都技術アドバイザー	大森 学
	(実習)テーマ①センサ技術	東京都立産業技術研究所	職 員
7月4日	(実習)テーマ②DSPによる信号処理	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習)テーマ②DSPによる信号処理		
7月5日	マイクロマシンのセンサへの応用	(株)横河ヒューマンクリエイト	原田 謹爾
	(実習)③アナログ回路とEMC	東京都立産業技術研究所	職 員
7月7日	(実習)③アナログ回路とEMC	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習)テーマ④総合演習		
7月8日	オプトエレクトロニクス	台東区産学公交流コーディネータ	笹岡 逞二
	(実習)テーマ④総合演習	東京都立産業技術研究所	職 員

②ものづくりのための加工技術

月 日	科 目	講 師	
6月27日	塑性加工	東京都立産業技術研究所	玉置 賢次
	熱処理と表面改質	仁平技術士事務所	仁平 宣弘
6月28日	切削加工	横山技術士事務所	横山 哲男
	研削加工	東京都立産業技術研究所	横澤 毅
6月30日	放電加工	東京都立産業技術研究所	山崎 実
	精密測定技術	東京都立産業技術研究所	樋田 靖広
7月1日	機械材料の特性	江戸川区中小企業相談員	佐々木武三
	新加工技術総論	東京工科大学	福井 雅彦
7月4日	(実習)材料試験	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習)加工部品の精密測定	東京都立産業技術研究所	職 員
		すみだ中小企業センター	中条 知和

7月5日	(実習)旋削加工	谷貝鐵工所	谷貝 忠
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
	(実習)放電加工	東京都立産業技術研究所	職 員
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
7月7日	(実習)研削加工	東京都立産業技術研究所	職 員
		城東地域振興センター	森 紀年
	(実習)エンミドル加工技術	東京都立産業技術研究所	職 員
7月8日	(実習)マイクロ放電加工	東京都立産業技術研究所	職 員
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
	(実習)金属プレス	東京都立産業技術研究所	職 員
7月11日	(実習)粉末冶金	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習)表面観察		
7月12日	超音波応用加工	日本工業大学	神 雅彦
	最近のプレス機械	アイダエンジニアリング(株)	八木 隆

③土壌と住環境における環境汚染物質の分析と評価技術

月 日	科 目	講 師	
9月1日	土壌・住環境の有害物質対策の現状と実務	星野技術士事務所	星野芳明
9月20日 ～ 9月26日	(実習) グループ I 「土壌汚染物質の分析技術」 揮発性有機化合物(VOC)、カドミウム、六価クロム などの重金属やシアン化合物の分析法等	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習) グループ II 「建材・接着剤・塗料などの住 環境の評価技術」 VOC(揮発性有機化合物)測定法、 建材のかび抵抗性試験、微生物に対する評価法等		

④工業材料の分析と評価

月 日	科 目	講 師	
9月20日	所内見学	東京都立産業技術研究所	職 員
	機能性有機材料	コカミルタフォトイメージング(株)	田中 真理
9月21日	無機分析概論	東京理科大学	田中 龍彦
	金属材料と組成分析	エスアイイ・ナテクノロジー(株)	川田 哲
9月22日	表面分析概論	千葉工業大学	坂本 幸弘
	ガラス材料	東京工業大学 名誉教授	山根 正之
9月26日	プラスチックの劣化と廃棄物処理	東京都立産業技術研究所	山本 真
	有機分析概論	埼玉大学	佐藤 勝
9月27日 ～ 10月28日	(実習) グループ 1. 有機材料の分析と評価 (液体クロマトグラフ分析法・有機元素分析法・赤外 分光分析法・他)	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習) グループ 2. 無機材料の分析と評価 (試料観察法・蛍光X線分析法・熱分析法・走査型電 子顕微鏡観察法・他)		
	(実習) グループ 3. 金属材料の分析と評価 (アーク発光分光分析法・X線回折法・熱分析法・他)		

⑤最近の照明と光利用技術

月 日	科 目	講 師	
10月18日	照明の基礎	東京都立産業技術研究所	岩永 敏秀
	色彩の基礎		實川 徹則
	光源と照明器具の測定技術		山本 哲雄
10月20日	照明環境デザイン 心を癒す照明－住環境から医療福祉施設まで－	ヤマギワ(株)	手塚 昌宏
	測光機器の原理と測定ノウハウ	(株)トプコンテクノハウス	伊藤 智理
	最新のLEDの開発動向	松下電工(株) 東京照明EC	山本 望
10月25日	有機ELの現状と将来展望	山形大学 工学部	城戸淳二
	(実習)各種測定器による光の測定技術	東京都立産業技術研究所	職 員
10月27日	光源の技術開発動向	千代田工販(株)	河本康太郎
	赤外線の利用技術	東京都立産業技術研究所	中島 敏晴
	分光放射計による測定技術	ウシオ電機(株)	仲田 重範
11月1日	(実習)照度計及び輝度計による測定技術	(株)トプコンテクノハウス	伊藤 智理
	(実習)測色計活用の実際	コニカミノルタセンシング(株)	鶴川 浩一
	終了式	東京都立産業技術研究所	職 員

⑥コンピュータ応用技術

月 日	科 目	講 師	
11月10日	組込みシステムの概要	(株)コア	中村 恒夫
	組込みシステム開発の実際	アンドールシステムサポート(株)	宇賀神 孝
11月11日	実習 C言語の基本文法(1) 変数、演算子、制御構文、関数	東京都立産業技術研究所	職 員
11月14日	実習 C言語の基本文法(2) 配列、ポインタ、構造体	東京都立産業技術研究所	職 員
11月15日	FPGAへのワンチップマイコンの構築と基本動作	(株)アルテックステクノロジー	川島 拓己
11月18日	FPGAへのワンチップマイコンの構築と基本動作	(株)アルテックステクノロジー	今井 康治
11月22日			
11月25日	総合実習通信ポート(ETHERNET, USB)、スイッチ、LED等を実装したFPGA基板を使った、制御アプリケーションを開発する総合実習	東京都立産業技術研究所	職 員
11月28日			
11月29日			

⑦製品開発における電気的安全性と制御技術

月 日	科 目	講 師	
11月29日	電気用品安全法による製品安全と不適合事例	(財)電気安全環境研究所	松澤 孝司
	制御システムの安全と信頼性の確保	東京都立産業技術研究所	坂巻佳壽美
	静電気障害とその対策	城東地域中小企業振興センター	殿谷 保雄
11月30日	医用機器の電気的安全技術	東京都立産業技術研究所	岡野 宏
	電気的安全に関する規格とその対応		栗原 秀樹
	シーケンス制御と安全性確保技術		山本 克美
	ワンチップマイコンPICと開発環境		重松 宏志
12月2日	(実習)プログラマブルコントローラの制御技術	東京都立産業技術研究所	職 員
12月5日	(実習)ワンチップマイコンの入出力機器の制御		
12月6日	(実習)ワンチップマイコンの安全確保のための活用		

(2) 分野別専門研修

それぞれの業種が抱える固有の課題に対し、実習を通して実践的な解決手段を提供するとともに、現場に必要な新しい技術の修得を図る（情報・コンピュータに関する知識、技術の実践的な修得を含む）。

① ネット製品の製造技術－編地編成実習－（第1回）

月 日	科 目	講 師	
9月16日	ニットに関する座学	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習) 横編機、丸編機による編地編成		

② ホームページ作成とサーバ（第1回）

月 日	科 目	講 師	
9月29日 ～ 9月30日	インターネットの仕組みとホームページ作成方法について	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習) ホームページ作成演習		
	ホームページ作成方法について		
	(実習) ホームページ作成演習とFTPによるデータ更新		

③ エレクトロニクス製品開発のための信頼性技術

月 日	科 目	講 師	
10月4日	信頼性概論と環境試験法	城南地域中小企業振興センター	三上 和正
	(実習) パソコンによる統計・データ解析、信頼性データ解析		
10月5日	プリント基板のはんだ付け評価	東京都議術アドバイザー	山本 繁晴
	(実習) 分析機器による故障解析／電子顕微鏡・赤外線分光分析・超音波顕微鏡・X線透過装置	東京都立産業技術研究所	職 員
10月6日	電子機器・部品の故障解析	オリンパスイメージング株式会社	柴田 義文
	(実習) 分析機器による故障解析／電子顕微鏡・赤外線分光分析・超音波顕微鏡・X線透過装置	東京都立産業技術研究所	職 員

④ ネット製品の製造技術－編地編成実習－（第2回）

月 日	科 目	講 師	
10月6日	ニットに関する座学	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習) 横編機、丸編機による編地編成		

⑤ 製品の快適性評価技術

月 日	科 目	講 師	
11月9日	試験装置概要について講義 (サーモグラフィ・衣服圧測定装置・サーモラボ)	東京都立産業技術研究所	黒田 良彦
	計測実習 (サーモグラフィ・衣服圧測定装置・サーモラボ)	東京都立産業技術研究所	職 員

⑥アパレル製品企画のためのCG活用・初心者向け(第1回)

月 日	科 目	講 師	
11月15日	Macの基本操作	東京都立産業技術研究所	大橋 健一
	CG作成の基礎(解像度、ファイル形式等)		
	(実習)4D-box 実地生地から配色替えの作成 スキャナ取り込み、色まとめ、配色替え スピーディに柄を作成 ストライプ、水玉、チェック		
	(実習)Illustrator ベジュー曲線による描画 ハンガーイラストの作成		
	(実習)Photoshop 素材集の活用 ハンガーイラストに、柄を合成		

⑦アパレル製品企画のためのCG活用・初心者向け(第2回)

月 日	科 目	講 師	
11月17日	Macの基本操作	東京都立産業技術研究所	大橋 健一
	CG作成の基礎(解像度、ファイル形式等)		
	(実習)4D-box 実地生地から配色替えの作成 スキャナ取り込み、色まとめ、配色替え スピーディに柄を作成 ストライプ、水玉、チェック		
	(実習)Illustrator ベジュー曲線による描画 ハンガーイラストの作成		
	(実習)Photoshop 素材集の活用 ハンガーイラストに、柄を合成		

⑧放射線測定の基礎(第1回)

月 日	科 目	講 師	
11月16日	放射線測定の基礎と実際	東京都立産業技術研究所	谷口 昌平
	(実習)X線装置を利用した線量測定		職 員
	(実習) γ 線照射装置等を利用した線量測定		

⑨放射線測定の基本(第2回)

月 日	科 目	講 師	
11月17日	放射線測定の基本と実際	東京都立産業技術研究所	谷口 昌平
	(実習) X線装置を利用した線量測定		職 員
	(実習) γ 線照射装置等を利用した線量測定		

⑩騒音・振動測定技術

月 日	科 目	講 師	
11月25日	騒音の評価方法	東京都立産業技術研究所	神田 浩一
	振動の評価方法		山形 重雄
	(実習) 騒音・振動測定技術		職 員

⑪商品開発のための発想技法

月 日	科 目	講 師	
11月28日	発想技法概論、基礎技法	東京都立産業技術研究所	薬師寺、秋田
	ユーザーニーズからの商品開発技法	サンキューリンク	高野 典子
11月29日	デザイン開発、マーケット開発のための発想技法	東京都立産業技術研究所	薬師寺、秋田
	自社の強みやシーズからの商品開発技法	サンキューリンク	高野 典子

⑫ものづくりのための実践設計

月 日	科 目	講 師	
12月1日	(実習) 三次元CADによる形状データの作成と確認1	東京都立産業技術研究所	職 員
	機械製図の基礎	東京都技術アドバイザー	北村 泰三
12月2日	(実習) 三次元CADによる形状データの作成と確認2	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習) 機械製図演習	東京都技術アドバイザー	北村 泰三

⑬繊維製品の評価技術

月 日	科 目	講 師	
12月9日	引張試験機の基礎知識と操作方法	東京都立産業技術研究所	岩崎、田中
	(実習) 試験機操作の実習、評価		職 員

⑭測定器具の使用方法和精度管理

月 日	科 目	講 師	
1月24日	精密測定の基礎	東京都立産業技術研究所	樋田 靖広
	(実習) 測定器具の使用方法和精度管理		職 員
			すみだ中小企業センター

⑮三次元CAD/CAM導入から基礎(第1回)

月 日	科 目	講 師	
1月25日 ～ 1月27日	(実習) 三次元CAD/CAM演習	キャノンシステムソリューションズ(株)	安元 真吾
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		東京都立産業技術研究所	職 員

⑩ホームページ作成とサーバ(第2回)

月 日	科 目	講 師	
1月26日 ～ 1月27日	インターネットの仕組みとホームページ作成方法について	東京都立産業技術研究所	職 員
	(実習)ホームページ作成演習		
	ホームページ作成方法について		
	(実習)ホームページ作成演習とFTPによるデータ更新		

⑪三次元CAD(第1回)

月 日	科 目	講 師	
2月2日 ～ 2月3日	(実習)三次元CAD演習	キャノンシステムソリューションズ(株)	安元 真吾
		東京都立産業技術研究所	職 員

⑫アパレル製品企画のためのパーソナルカラー選定の知識習得とその活用法(第1回)

月 日	科 目	講 師	
2月10日	色彩学基礎、パーソナルカラーの技術演習	日本色彩研究所	熊谷 佳子
	2006年ファッション傾向	東京都立産業技術研究所	職 員

⑬アパレル製品企画のためのパーソナルカラー選定の知識習得とその活用法(第2回)

月 日	科 目	講 師	
2月14日	色彩学基礎、パーソナルカラーの技術演習	日本色彩研究所	熊谷 佳子
	2006年ファッション傾向	東京都立産業技術研究所	職 員

⑭FPGAによるリアルタイム制御技術

月 日	科 目	講 師	
2月13日	組込みリアルタイムOSの概要	東京都立産業技術研究所	森 久直
	(実習)組込みリアルタイムOSのFPGAへの実装と動作		
2月14日	制御プロセッサ生成技術の紹介 (実習)制御プロセッサ生成技術によるFPGAを用いたコントローラ設計	東京都立産業技術研究所	武田 有志

⑮繊維製品の品質評価(基礎)

月 日	科 目	講 師	
2月16日	繊維物性試験の概要の解説	東京都立産業技術研究所	富永真理子
	(実習)密度・引張・引裂・摩耗・滑脱ピリング試験等		職 員

⑯ホウ素規制に対応するニッケルめっき技術

月 日	科 目	講 師	
2月23日	クエン酸ニッケルめっきの概要	東京都立産業技術研究所	土井 正
	(実習)クエン酸ニッケルめっき		職 員

㊸三次元CAD/CAM導入から基礎（第2回）

月 日	科 目	講 師	
3月1日 ～ 3月3日	(実習) 三次元CAD/CAM演習	キャノンシステムソリューションズ(株)	安元 真吾
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		東京都立産業技術研究所	職 員

㊹初心者のための三次元CAD/CAM

月 日	科 目	講 師	
3月16日 ～ 3月17日	(実習) 三次元CAD/CAM演習	キャノンシステムソリューションズ(株)	安元 真吾
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		東京都立産業技術研究所	職 員

㊺三次元CAD/CAM導入から基礎（第3回）

月 日	科 目	講 師	
3月22日 ～ 3月24日	(実習) 三次元CAD/CAM演習	キャノンシステムソリューションズ(株)	安元 真吾
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		東京都立産業技術研究所	職 員

(3) 新技術セミナー

個々の中小企業者が抱える固有の課題に対し、新しい技術情報や周辺情報を提供することで、課題解決に寄与する。

①放射線安全取扱技術

月 日	科 目	講 師	
5月25日	放射線の基礎	都立産業技術研究所	櫻井 昇
	放射線安全取扱に関する法令		鈴木 隆司
	密封線源の安全取扱		谷口 昌平
	非密封 RI の安全取扱		小山 元子
	放射線の人体に与える影響		金城 康人

②皮革の取り扱い方

月 日	科 目	講 師	
7月27日	皮革の取り扱い方の基本	都立皮革技術センター	今井 哲夫
	繊維染色の基礎知識	都立産業技術研究所	池田 善光

③ナノテク加工による綿新素材

月 日	科 目	講 師	
8月4日	ナノテク加工による綿新素材	日清紡績株式会社	高森 健彰
	丸編、横編、靴下のニット技術	東京都立産業技術研究所	池上、飯田

④高齢者のための製品開発

月 日	科 目	講 師	
9月7日	中高年女性インナー市場への取り組み	(株)ワコール	駒谷 安美
	高齢社会におけるビジネスモデル	東京都老人総合研究所	鈴木 隆雄
	快適性評価機器の紹介	都立産業技術研究所	大泉 幸乃

⑤2006年秋冬ファッション予測

月 日	科 目	講 師	
9月7日	2006-2007年秋冬ファッションと求められる素材の方向性	テキスタイルコーディネーター	車 純子
	テキスタイル・ものづくりの方向性	都立産業技術研究所	藤田 茂

⑥デザイン情報 (1) 2006年春夏・市場傾向と色彩

月 日	科 目	講 師	
9月30日	2006年春夏・市場傾向と色彩	日本流行色協会	大関 徹
	2006年春夏・アパレルデザインインフォメーション解説	都立産業技術研究所	嶋 明

⑦繊維産業におけるナノテクノロジー

月 日	科 目	講 師	
10月7日	繊維産業におけるナノテクノロジー	東洋紡績株式会社	安倍 俊三
	繊維製品の変色原因と対策	都立産業技術研究所	藤代、長野

⑧デザイン情報 (2) 2006 年春夏・欧州素材情報

月 日	科 目	講 師	
10 月 18 日	2006 年欧州素材情報	㈱インファス&NTT ネットワーク	中出 順子
	2006 年ファッショントレンド予測	都立産業技術研究所	嶋 明

⑨放射線を照射した食品の最近の動向

月 日	科 目	講 師	
10 月 20 日	食品衛生から見た照射食品	東京都福祉保健局	澁谷 智晃
	海外における照射食品の動向	独立行政法人食品総合研究所	等々力節子
	照射食品の検査方法	都立産業技術研究所	職 員
	施設見学		

⑩デザイン情報 (3) 2006 年春夏・総合情報

月 日	科 目	講 師	
10 月 25 日	2006 年春夏・総合情報	ファッション・ディレクター	中村 芳道
	2006 年春夏・アパレルデザインインフォメーション解説	都立産業技術研究所	嶋 明

⑪製品開発とデザイン

月 日	科 目	講 師	
11 月 11 日	錯視デザインの手法とその活用	都立産業技術研究所	秋田 実
	つくるためのデザイン・売するためのデザイン		薬師寺千尋
	現場からのデザイン事例 -発想のタガはずし-	㈱テクノプロト	釘宮 正隆
	高齢者・障害者配慮のためのデザイン	都立産業技術研究所	阿保友二郎

⑫最新の雷害対策技術

月 日	科 目	講 師	
11 月 11 日	雷の発生から伝搬	都立産業技術研究所	滝田 和宣
	電子機器の雷害対策の現状	職業能力開発総合大学校	木島 均
	建築物の外部避雷と内部避雷保護	エース国際技術コンサルティング	竹谷 是幸

⑬グリーン調達制度と環境への対応

月 日	科 目	講 師	
12 月 2 日	東京都立産業技術研究所における環境関連研究の紹介	東京都立産業技術研究所	小山 秀美
	東京都建設グリーン調達制度	東京都都市整備局	宮田 清綱
	板橋区の環境施策とガラスリサイクルプロジェクト	東京都板橋区	品田 真希
	グリーン調達等に関わる分析方法の標準化の動向	㈱島津製作所	山下 昇
	グリーン調達調査共通化の動向と保証体制について	キャノン㈱	古田 清人

⑭MEMS（マイクロマシン）技術

月 日	科 目	講 師	
1月31日	MEMSのためのマイクロ加工技術	東京医科歯科大学	工藤 寛之
	大気圧プラズマ表面改質技術	松下電工マシンアンドビジョン(株)	澤田 康志
	人体を伝送路とした情報通信	(株)カイザーテクノロジー	加藤 康男
	カーボンナノチューブの分散・切断技術とその応用	ナノフロンティア(株)	津田 薫
	東京都ナノテクノロジーセンターの微細加工技術	東京都立産業技術研究所	加沢エリト

⑮赤外線利用技術

月 日	科 目	講 師	
2月1日	赤外線の基礎と最近の動向	東京都立産業技術研究所	中島 敏晴
	近赤外分光による品質評価技術	(株)相馬光学	大倉 力
	最近の自動車における赤外線利用技術	日産自動車(株)	廣田 正樹
	赤外線を利用した生体計測	(株)日立製作所	牧 敦

⑯医療・福祉機器の電気的安全性と製品開発

月 日	科 目	講 師	
2月8日	医療・福祉機器の安全性と製品開発	都立産業技術研究所	岡野 宏
	改正薬事法における第三者認証事業の実際	財団法人 医療機器センター	添田 直人
	医療機器のEMC法制化とその問題点	オリンパスメディカルシステムズ(株)	谷川 廣治
	障害者高齢者が社会生活をスムーズに適應する方法	国立身体障害者リハビリテーションセンター	岩谷 力

⑰最近の防かび剤の動向と工業製品の防かび

月 日	科 目	講 師	
2月10日	最近の防かび剤の動向	大和化学工業(株)	村松 高広
	工業製品の防かび	日本曹達(株)	矢辺 茂昭
	天然由来成分による綿の防かび加工	都立産業技術研究所	中村 宏

⑱放射線滅菌技術

月 日	科 目	講 師	
2月23日	放射線滅菌の改訂版 ISO 11137 規格の概要	都立産業技術研究所	関口 正之
	放射線滅菌導入のキーポイント	日本電子照射サービス(株)	山瀬 豊
	プラスチックの滅菌技術の現状と課題	藤森工業(株)	永田 政令
	局方関連の微生物試験の実際	(財)日本食品分析センター	関口 道子
	医療機器のエンドトキシン測定法	都立産業技術研究所	細渕 和成
	質疑	講師全員	

⑱CVD ダイヤモンド膜及びダイヤモンドの最新加工技術

月 日	科 目	講 師	
2月23日	砥粒レス超音波研磨法によるCVDダイヤモンド膜の研磨技術	都立産業技術研究所	横沢 毅
	FIBによるダイヤモンドの加工	日本工業大学先端技術研究センター	野口 裕之
	CVD ダイヤモンド膜の合成法とその特性	(株)不二越	神田 一隆

⑳放射線の人体影響

月 日	科 目	講 師	
2月24日	人体影響の事例とあらわれ方	都立産業技術研究所	金城 康人
	チェルノブイリ原発事故その概要と放射能汚染、被曝、健康影響	京都大学原子炉実験所	今中 哲二
	放射線障害のメカニズム 細胞レベルを中心として	岡山大学名誉教授	大原 弘
	がんの放射線療法	都立産業技術研究所	宮崎 則幸

㉑デザイン情報（4）ファッショントレンド情報

月 日	科 目	講 師	
2月27日	06年秋冬ディレクション	ファッション・ディレクター	中村 芳道
	シーズン総合情報と07年春夏プレビュー	都立産業技術研究所	大橋 健一

㉒ナノカーボンの応用展開

月 日	科 目	講 師	
2月28日	ナノカーボンの分散技術と固体潤滑材としての可能性	都立産業技術研究所	柳 捷凡
	分光法によるカーボンナノチューブの測定技術	(株)堀場製作所	中田 靖
	フラーレンの物性と身近な応用展開	フロンティアカーボン(株)	村山 英樹
	1) 町工場でも出来るカーボンナノチューブ簡易製造法 2) カーボンナノホーンの合成と燃料電池	豊橋技術科学大学	滝川 浩史

㉓RoHS 指令とプラスチックの環境対策技術

月 日	科 目	講 師	
3月3日	プラスチック環境対策技術の現状	都立産業技術研究所	進藤 良夫
	WEEE&RoHS指令の現状、今後の対応策	(社)産業環境管理協会	松浦 徹也
	国際基準としてのISO/IEC17025 試験所認定機関の分析技術	(株)分析センター	黒澤 勝

㉔環境負荷の少ない安心・安全ものづくり

月 日	科 目	講 師	
3月10日	製品開発デザインにおけるコンプライアンス	東京都立産業技術研究所	伊瀬 洋昭
	法令・規制の動向と各企業の対応	(株)島津製作所	宮崎 恭一
	蛍光X線によるスクリーニング	(株)島津製作所	山下 昇
	精密分析(ICP)	(株)島津製作所	舩田 哲也
	資源確保の方策 ー廃棄物からの有用資源回収ー	東京都立産業技術研究所	白子 定治

㊸ 金型材料の選び方と熱処理

月 日	科 目	講 師	
3 月 16 日	材料と熱処理の基礎	都立産業技術研究所	内田 聡
	金型材料の選び方とその熱処理 (1) 工具材料の基礎と冷間金型用鋼	日立金属工具鋼(株)	小松原周吾
	金型材料の選び方とその熱処理 (2) 熱間金型用鋼、プラスチック金型用鋼	日立金属工具鋼(株)	小松原周吾
	金型を高機能化するための表面処理	仁平技術士事務所	仁平 宣弘

7.6 開放試験

中小企業が実施する新製品開発や品質管理を支援するために、各種の測定器や試験機器・設備等を設置し、企業に開放するとともに、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスを行った。

平成17年度開放試験の試験項目及び実績件数・金額は次のとおりである。

開放試験項目	件数	金額(円)
指示計器(交流電圧・直流・交流電圧電流計)	84	6,840
定数測定器・測定用素子(インピーダンス・ミリオーム・摺動抵抗器・可変抵抗減衰器)	44	7,200
電圧・周波数測定器(デジタルボルトメータ・マルチメータ)	146	44,710
信号発生器及び発信器(高周波ノイズシミュレータ・静電気障害試験器)	842	440,120
校正装置(直流校正装置、交流標準電圧電流発生器)	38	5,870
波形測定器及び記録装置(デジタルオシロスコープ・温度記録計)	611	191,570
電源装置その他(電圧調整器・直流定電圧電源)	466	97,420
試験機械(万能試験機・硬さ試験機)	277	218,070
測定機器(万能投影器・工具顕微測定機・歯車試験機)	68	38,360
環境試験機器(低温恒温恒湿槽・冷熱衝撃試験装置・振動試験・衝撃試験機・雷サージ発生器)	5,172	11,666,730
試験機器(粘弾性スペクトロメータ・耐電圧試験器)	32	64,720
記録解析機器(放射電界測定器・FFTアナライザ・実時間分析器)	43	93,980
観察機器(X線顕微鏡・写真顕微鏡装置・金属顕微鏡)	0	0
加工機器(クリーンルーム・発塵性試験装置)	51	113,360
繊維計測機器(自動強伸度試験・定温乾燥機・静電気測定器・サーモグラフィ)	1,842	1,527,710
染色試験・生産加工機器(ウインス染色機・工業用ミシン・転写なせん装置・ニードルパンチ機)	698	617,520
その他の試験機器(デザイン作成システム・整経機・コンピュータ制御編機)	116	125,480
合 計	10,530	15,259,660

7.7 オープン・ラボ

中小企業と協力、共同して、製品・技術開発等を行うインキュベーション機能を有するオープン・ラボを2室開設し、研究開発型企業の育成、共同開発研究等の支援を行った。

平成17年度は、次のような共同研究を促進するために利用した。

室名	事業名	課題名	期間
ラボ・I	地域新生コンソーシアム研究開発	パターンマッチング回路の超高速化とフィルタリング装置への応用	4月1日～6月30日
			7月1日～9月30日
			10月3日～12月5日
			2月1日～3月31日
ラボ・II	共同開発研究	直流電圧測定用不確かさ評価手法の開発	6月1日～7月7日
	受託試験	柔構造フロートシステムの特性解析	7月8日～7月22日
	受託試験	鉄道用ポイント部品の強度解析	10月18日～12月22日

7.8 放射線施設利用

駒沢庁舎（放射線利用施設）では、放射線利用の新技術、放射線測定、放射線を安全に利用するための知識・技術などの放射線施設利用による技術指導を行った。平成17年度の実績は次のとおりである。

99件 845,900円

7.9 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源の乏しい中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供しあい、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が、有効な手段の一つとなる。そこで、こうした交流を促進するための支援策として、新グループを発生させ、1) グループ形成支援、2) グループ間交流支援の2施策を行った。

1) グループ形成支援

産業技術研究センターでは、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を昭和59年度から毎年1グループ、平成10年度と平成11年度は2グループを発足させている。現在21グループ約340社の会員が活動している。

平成17年度は、異業種交流グループを公募により結成し、専門の助言者を配置して定例会を開催したほか、技術交流を促進するために、工場見学を実施した。平成17年度の開催実績は次のとおりである。

日時	会議名	参加者数
7/21	東京都異業種交流事業 H17 グループ (発会式)	28
8/18	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	29
9/22	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	26
10/19	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	25
11/22	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	24
12/15	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	25
1/19	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	21
3/16	東京都異業種交流事業 H17 グループ (定例会)	17

2) グループ間交流支援

(1) 東京都異業種交流グループ グループ協議会の開催

既存グループの活動状況を報告し合い、互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催した。平成17年度の開催実績は次のとおりである。

日時	会議名	参加者数
5/26	グループ協議会	22

(2) 東京都異業種交流グループ 合同交流会・合同交流会実行委員会の開催

グループ間の交流を深めるために、年1回、全グループのメンバーが一堂に会する合同交流会を開催し、ポスターセッション、特別講演、成果事例発表等を行った。開催に当たっては、各グループから選任された委員により合同交流会実行委員会を設置した。平成17年度の合同交流会・合同交流会実行委員会の開催実績は次のとおりである。

日 時	会 議 名	参加者数
7 / 7	合同交流会実行委員会 (第1回)	25
9 / 1	合同交流会実行委員会 (第2回)	14
10 / 6	合同交流会実行委員会 (第3回)	13
11 / 10	合同交流会実行委員会 (第4回)	14
12 / 1	合同交流会実行委員会 (第5回)	13
1 / 12	合同交流会実行委員会 (第6回)	20
2 / 6	合同交流会 (都民ホール・都政ギャラリーで開催)	115
2 / 24	合同交流会実行委員会 (第7回)	18

(3) 旧異業種交流グループへの支援

すでに自主運営に移行している旧20グループについても、希望グループに対する連携担当者の設置、会議室の利用、技術的内容の講演依頼への対応等、グループ活動の支援を行ってきた。平成17年度、旧異業種交流グループの当所利用、定例会等の実施数は次のとおりである。

実 施 数	
回 数	のべ参加者数
56	546

(4) ものづくりネットワーク促進室の活用

(a) 設置目的

国の「地域融合化促進事業」により、当センターに融合化のための情報交換・諸会議開催機能を有するものづくりネットワーク促進室を設置し、交流促進を図る。

(b) ものづくりネットワーク促進室の概要

産業技術研究センターの近在である城北地域のグループまたは、企業、及び産業労働局商工部と当所で共同設置したグループ（平成17年度21グループ）の活動拠点とする。

(c) 運営及び管理

- ① 開室日及び時間 当所休日を除く9時～17時
- ② 利用申し込み方法 来所または電話予約
- ③ 運営管理部署 交流連携室 交流支援係

(d) 利用実績

利 用 数		
件 数	企 業	参加者数
30	260	260

7.10 業種別技術協議会・分科会

研究、指導等の事業計画を策定するにあたり、必要かつ的確な技術情報を把握するための会議である。業界の代表者を招き、情報の交換等を技術協議会（全体会議）および技術分科会（分科会議）で行った。

1) 業種別技術協議会

業 界 名	開催日	出席者	内 容
東部硝子工業会	H17. 5. 18	業界側 15名 都側 14名	所及び局事業の説明を行い、東部硝子工業会の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
多摩繊維業界	H17. 7. 14	業界側 23名 都側 12名	所及び局事業の説明を行い、多摩繊維業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
区内繊維関連業界	H17. 7. 29	業界側 27名 都側 9名	所及び局事業の説明を行い、区内繊維関連業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。

2) 業種別技術分科会

業 界 名	開催日	出席者	内 容
東部硝子工業会	H17. 5. 18	業界側 32名 都側 8名	所の事業説明、技術紹介、施設見学を行い、技術上の問題点や所および工業会の保有する技術情報の交換を行った。
計測制御研究懇談会・PC情報研究会・制御システム研究会	H17. 8. 26	業界側 20名 都側 7名	それぞれの会が抱える技術的課題および最近の技術動向等に関して意見交換および討議を行った。
東部金属熱処理工業組合	H17. 9. 7	業界側 15名 都側 2名	最近の成果などに関する説明を行い、技術上の問題点について意見交換および討議を行った。
建設5社電気研究会	H17. 10. 12	業界側 13名 都側 3名	所内見学を行い、業界の抱える技術上の問題点と対策について討議・意見交換を行った。
東京都金属プレス工業会	H17. 12. 20	業界側 11名 都側 4名	所内見学を行い、工業会の抱える技術上の問題点と対策について討議・意見交換を行った。
超音波応用懇談会	H18. 1. 25	業界側 10名 都側 3名	所の事業説明を行い、懇談会の現状や技術的課題、所への要望などについて意見交換を行った。
照明技術研究会	H18. 3. 10	業界側 12名 都側 4名	所の事業説明を行い、業界の現状や技術的課題、所への要望などについて意見交換を行った。

7.11 技術研究会

技術力及び技術開発力の向上をめざす中小企業の技術者と共に技術研究会を設立し、製品開発等、技術情報の交換を積極的に行った。

番号	名称	設立年月	活動目的	企業側総参加者数 (都側)	開催回数
1	静電気研究懇談会	昭和51年4月	静電気に関する技術の向上、研究討論会・発表会の開催、技術資料の収集	12 (15)	1
2	計測制御研究懇談会	昭和52年12月	計測制御技術の向上、研究発表会・講習会等の開催、情報収集等	226 (40)	20
3	銅合金鋳物研究会	昭和53年11月	銅合金鋳物に関する技術の向上、研究討論会・発表会・講習会等の開催等	0 (0)	0
4	化学技術研究会	昭和62年4月	化学技術の向上、相互の技術交換	53 (4)	4
5	静電植毛技術研究会	昭和62年8月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会等の開催、技術資料の収集	10 (3)	1
6	超音波応用懇談会	昭和63年3月	超音波及び周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流等	85 (10)	5
7	締結問題研究会	昭和63年3月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会等の開催、技術資料の収集	21 (5)	2
8	センサ技術応用研究会	平成元年2月	センサの開発・応用に関する技術の向上、情報交換、講演会等の開催、資料収集	0 (0)	0
9	PC情報研究会	平成元年7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催等	122 (20)	13
10	トライボコーティング技術研究会	平成6年11月	表面改質技術及びその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究を実施する	338 (9)	6
11	東京都健康・福祉機器産業化技術研究会	平成8年4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用について研究	27 (8)	2
12	電気設備技術研究懇談会	平成9年3月	電気設備、電気応用機器の諸問題及び業界の技術上の課題等について研究を行う	0 (0)	0
13	粉末冶金技術研究会	平成9年4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究等を実施	218 (4)	4
14	信頼性技術研究会	平成9年4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会等の開催、技術情報交換	66 (9)	6
15	制御システム研究会	平成9年6月	制御システム全般について、製品開発に必要な技術力向上を目指すことを目的とする	50 (13)	5
16	制振・防音技術研究会	平成10年2月	建築物の騒音対策における制振技術について情報収集、情報交換等を行う	0 (0)	0
17	繊維製品品質研究会	平成12年5月	繊維製品を消費科学の立場から研究し、その品質向上に寄与する	0 (0)	0
18	光交流会	平成12年8月	オプトエレクトロニクスに興味を持つ異業種交流団体が、当所を光情報の交換の場として活動する	0 (0)	0
19	火山灰利用研究会	平成13年7月	三宅島等の火山灰等を有効利用するための研究・開発技術および関連情報の交換を行う	0 (0)	0
20	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成13年10月	ユニバーサルファッション製品及び高齢者対応製品の開発支援・情報交換を行う	110 (23)	11
21	環境分析研究会	平成13年11月	環境汚染の浄化及び環境汚染を未然に防止するための技術について研究調査する	0 (0)	0
22	東京照射利用研究会	平成14年1月	放射線照射による滅菌の技術的課題の検討、医療用具以外への適用の可能性を調査する	0 (0)	0

番号	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業側総 参加者数 (都側)	開催回数
23	クリーニング技術研究会	平成 14 年 2 月	クリーニング並びに仕上げ技術の向上と、各企業の連携強化・情報交換を行う	0 (0)	0
24	照明技術研究会	平成 14 年 3 月	照明技術の研究を行うと共に、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換を行う	56 (14)	4
25	ドライ加工研究会	平成 14 年 5 月	ドライ加工に関する最新情報を提供し、無潤滑プレス加工の実用化について検討する	34 (8)	2
26	資源環境技術研究会	平成 14 年 5 月	環境汚染防止技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	0 (0)	0
27	八王子産地オリジナル製品 開発研究会	平成 14 年 7 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓等の勉強会を行う	295 (27)	12
28	青梅繊維産業研究会	平成 14 年 9 月	青梅の優れた綿製品製造技術を活かし、快適で安全な繊維製品を開発する	0 (0)	0
29	循環型技術研究会	平成 15 年 1 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	0 (0)	0
30	CAD/CAM研究会	平成 15 年 6 月	CAD/CAMソフトや各種工作機械に関する情報収集、製品開発における連携推進と技術情報交換	150 (16)	16
31	触覚文字フォアフィンガー 研究会	平成 15 年 7 月	浮き出し文字にして表示するための読みやすく触読しやすいオリジナル書体の開発を行い広く普及させる	44 (5)	5
32	クラスター利用技術研究会	平成 15 年 9 月	クラスター・ナノ粒子の利用技術・評価法等の情報収集、共同研究等の実施。技術力・製品開発力の向上	15 (2)	1